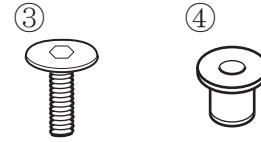
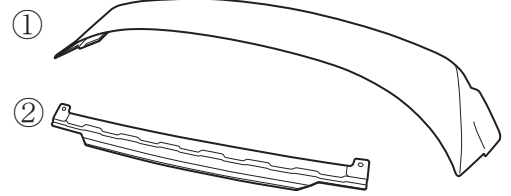


【構成部品表】

No.	PARTS NAME.	QTY.
①	ルーフ スポイラー	1
②	別ピース	1
③	ボルト	4
④	ウェルナット	4
⑤	ブラック アウト フィルム a (R/L)	各 1
⑥	ブラック アウト フィルム b (R/L)	各 1
⑦	ステッカー	1
⑧	PACプライマー K-500	1
⑨	型紙	1
⑩	WEB取説ご案内シート	1



本書本文中の使用部品番号は
構成部品表に準じます。

未塗装品のみ 未装着品

No.	PARTS NAME.	QTY.
⑪	モール (グレー/ブラック)	各 1



【必要工具】

- ・ドライバー + ・クリップリムーバー ・ドリルφ3、φ6、φ8 ・六角レンチ
- ・キリ ・カッター ・ハサミ ・イソプロピルアルコール ・ウエス
- ・マスキングテープ ・スキージ (へら)

◆◆塗装作業の注意事項◆◆

1. 乾燥は、常温乾燥をお勧めします。強制乾燥での焼付上限温度は60℃です。60℃以上に加熱すると変形する場合がありますので、ご注意下さい。
2. その他につきましては、塗料メーカーの取扱説明書に従って、有機溶剤中毒および引火事故等の危険防止に努め、作業を行って下さい。
3. 遠赤外線機でのスポット乾燥はお止め下さい。

推奨品 塗料：2液性アクリルウレタン樹脂塗料（常温乾燥タイプ）

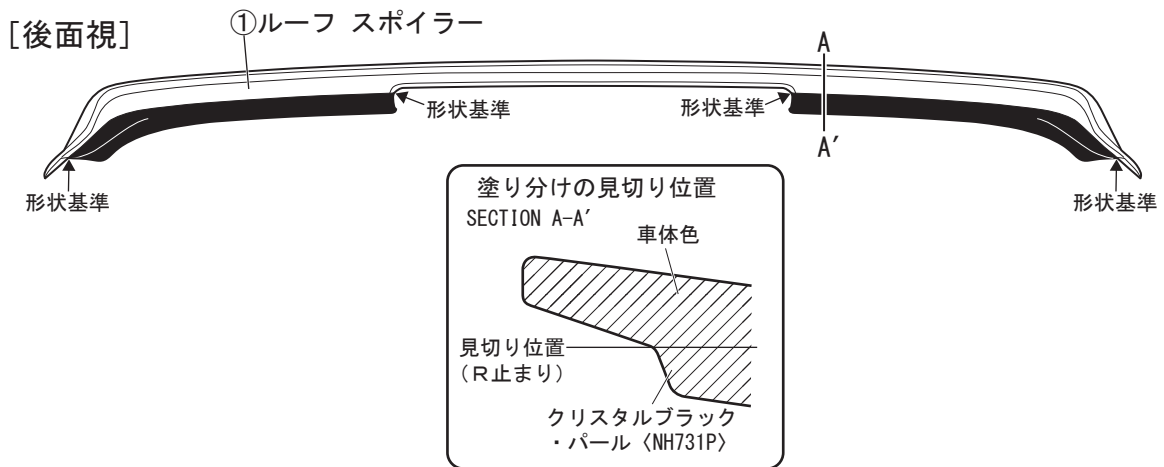
【未塗装品】 ※塗装済み品の場合はP4の「I. 取り付け準備」から始めて下さい。

1. ①ルーフ スポイラーを塗装する

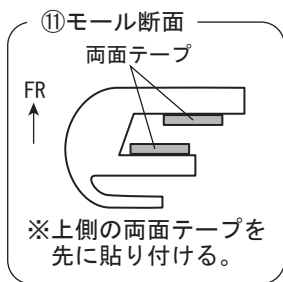
塗装の塗り分け

塗り分け塗装推奨：クリスタルブラック・パール〈NH731P〉

○ 車体色
● クリスタルブラック・パール〈NH731P〉

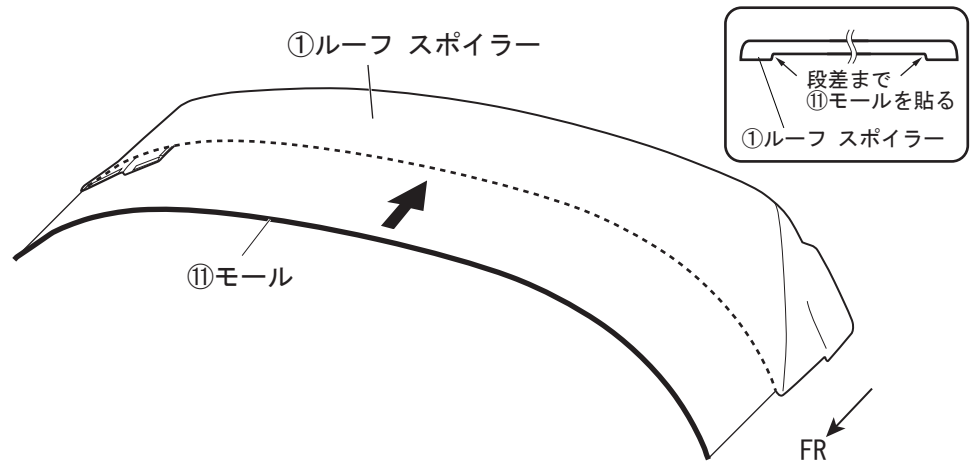


2. 貼り付け面を脱脂し、①モール（グレー／ブラック）を①ルーフ スポイラーに貼り付ける。



①モール

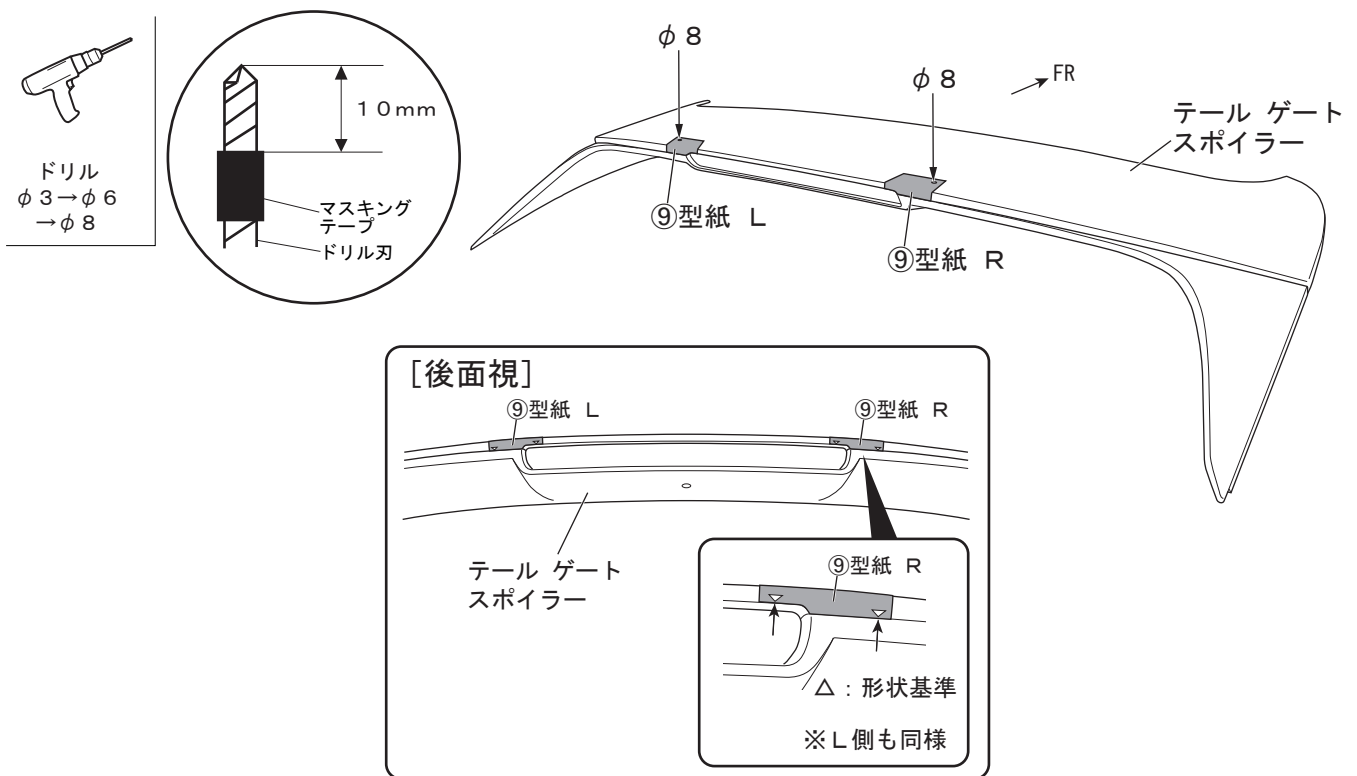
- ・車体色が明るい場合
グレー
- ・車体色が暗い場合
ブラック



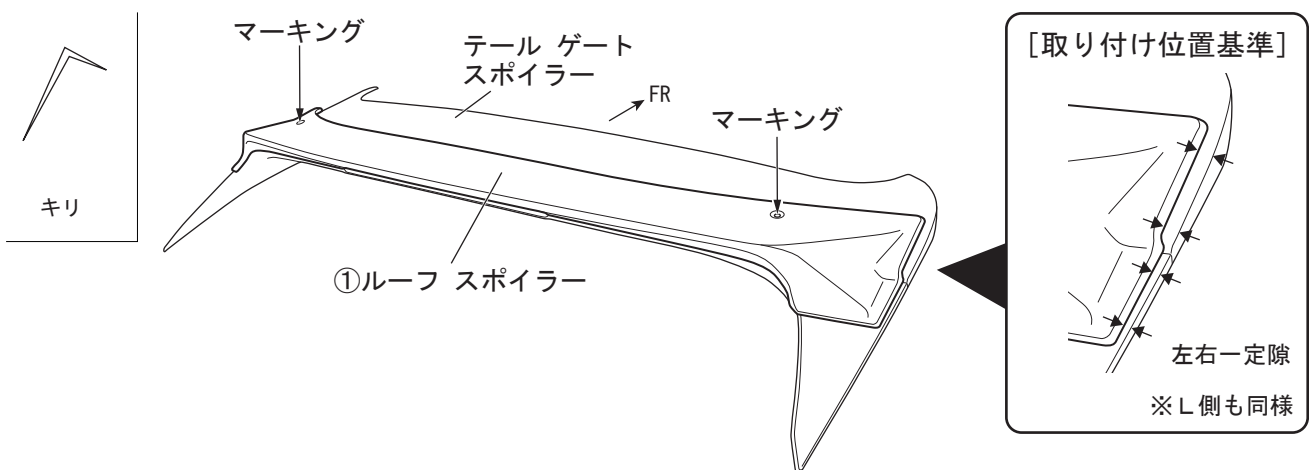
I. 取り付け準備

- 《注意》・ルーフ スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。
・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
・作業は左右同様にを行うこと。

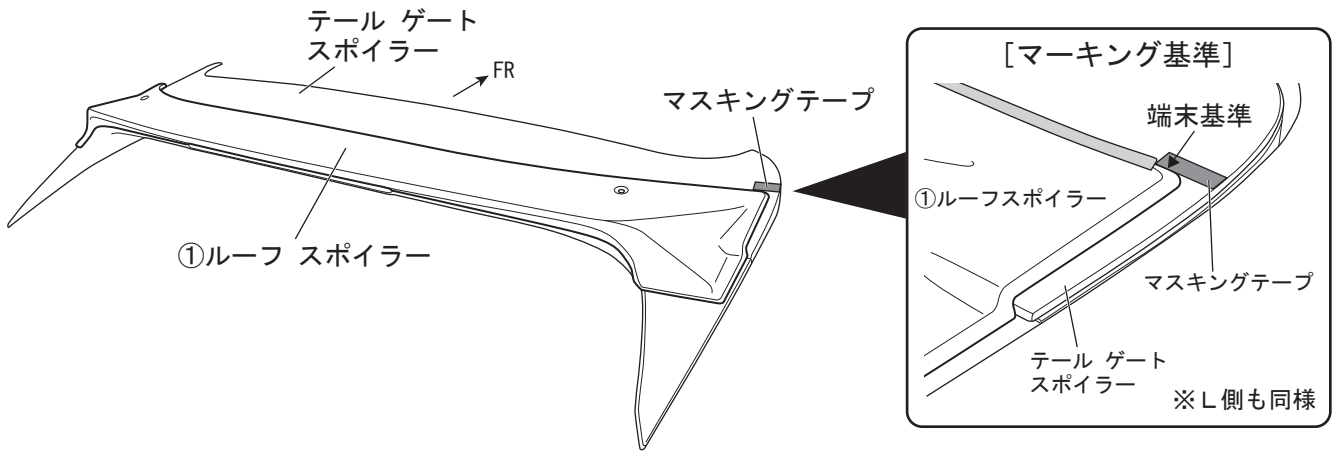
1. テール ゲート スポイラー上面の図示位置に⑨型紙を使用し、 $\phi 8$ ($\phi 3 \rightarrow \phi 6 \rightarrow \phi 8$) の穴を片側1か所開ける。
穴開け作業の際に貫通防止策としてドリルの刃にマスキングテープ等を貼っておく。
穴開け後は⑨型紙を外し、穴周囲のバリを除去する。



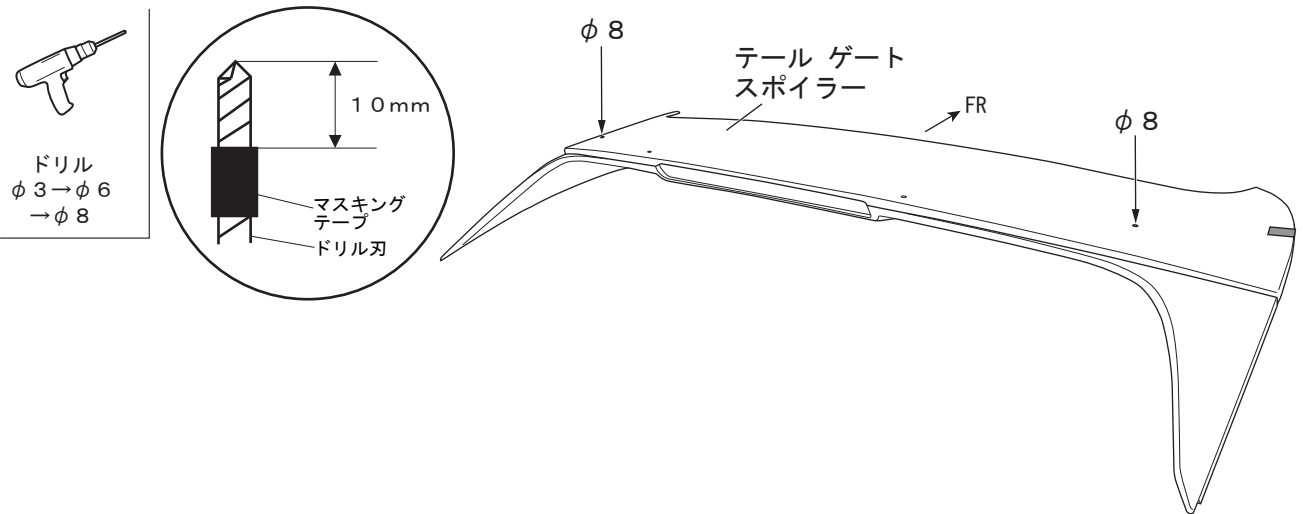
2. ①ルーフ スポイラーをテール ゲート スポイラーに仮当てし、上面の穴位置に合わせてテール ゲート スポイラーに穴あけ位置をキリで片側1か所マーキングする。



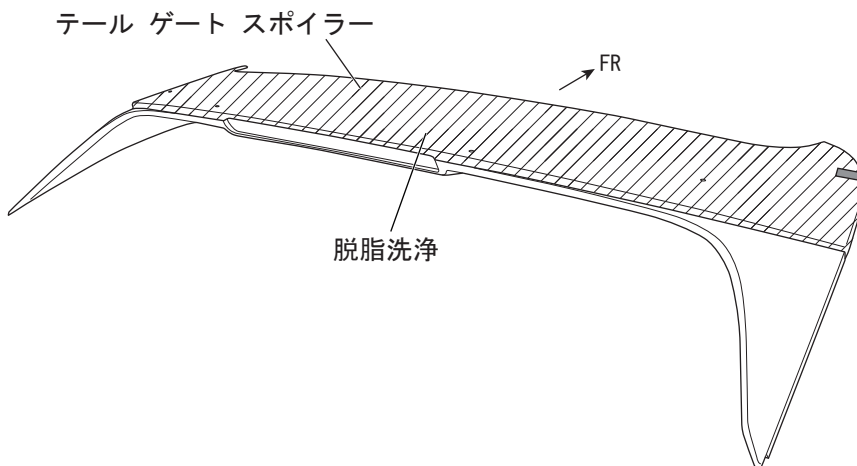
3. ①ルーフ スポイラー前側端末に合わせてテール ゲート スポイラーに⑥ブラック アウトフィルム b (R/L) の貼り付け位置をマスキングテープで片側 1 か所マーキングする。
 マーキング後、①ルーフ スポイラーを取り外す。
 ※車体色がクリスタルブラック・パール (NH731P) の場合は施工不要です。



4. マーキング位置に合わせてテール ゲート スポイラーに $\phi 8$ ($\phi 3 \rightarrow \phi 6 \rightarrow \phi 8$) の穴を片側 1 か所開ける。
 穴開け作業の際に貫通防止策としてドリルの刃にマスキングテープ等を貼っておく。
 穴開け後、穴周囲のバリを除去する。



5. テール ゲート スポイラーの下図斜線部をイソプロピルアルコールで脱脂洗浄する。



6. テール ゲート スポイラーの下図位置に⑤ブラック アウト フィルム a (R/L)、⑥ブラック アウト フィルム b (R/L)を貼り付ける。
 ※車体色がクリスタルブラック・パール〈NH731P〉の場合は施工不要です。

[使用部品]

⑤ (各1)

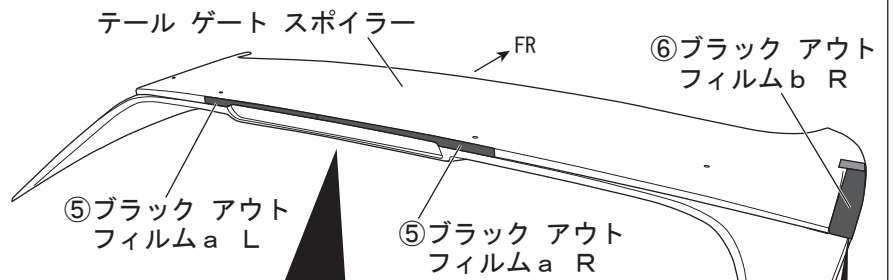


ブラック アウト
フィルム a

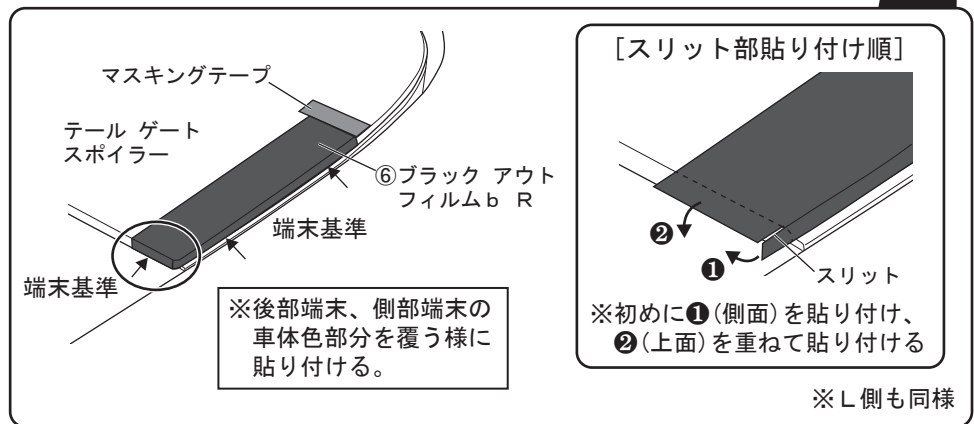
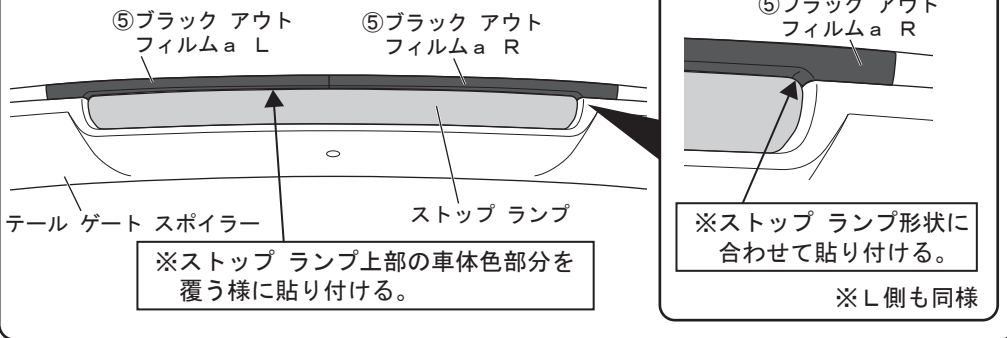
⑥ (各1)



ブラック アウト
フィルム b



[後面視]



7. マスキングテープを剥がす。

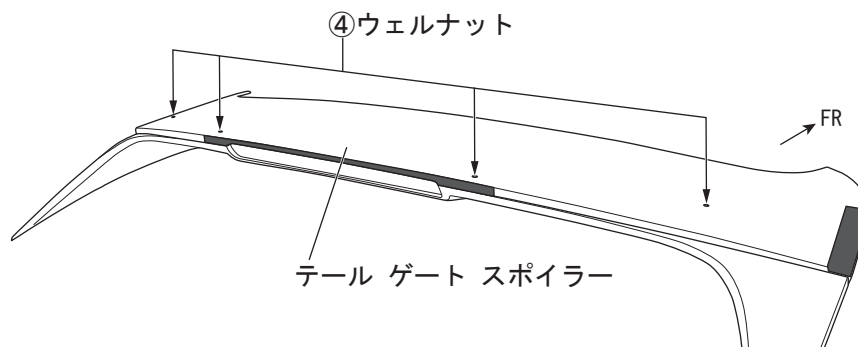
8. テール ゲート スポイラー上面のφ8穴に④ウェルナットを4か所取り付ける。

[使用部品]

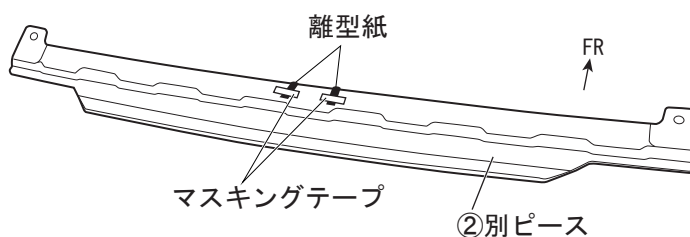
④ (4)



ウェルナット



9. ②別ピース前側の両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表側に折り返してマスキングテープで固定する。



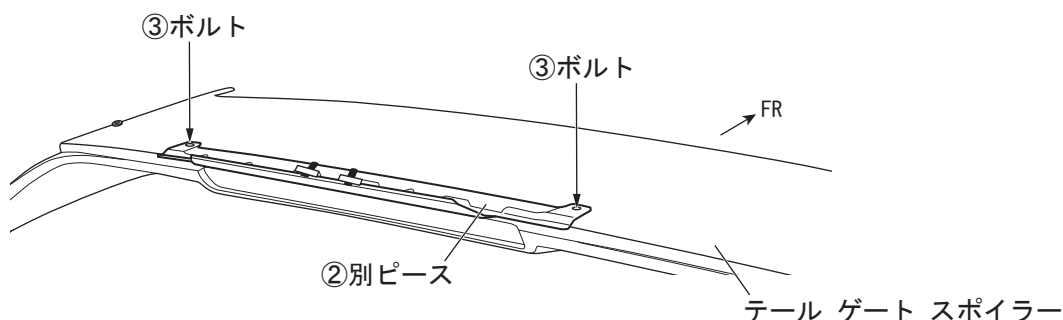
10. ②別ピースをテールゲートスポイラーに仮当てし、③ボルトで仮締めする。

[使用部品]

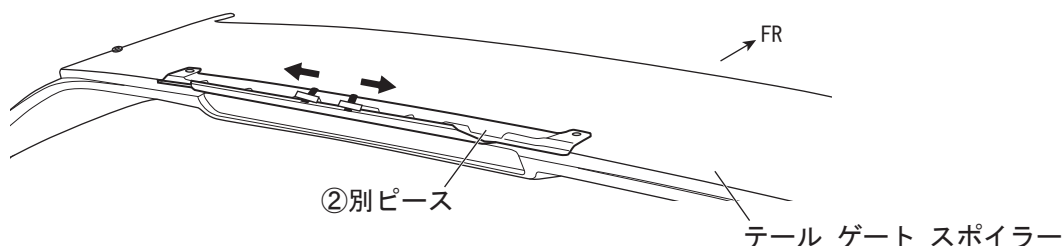
③(2)



ボルト



11. 取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に引き抜く様に剥がし圧着する。



※両面テープの圧着は十分行うこと。
圧着不足は、別ピースの浮き剥がれの原因となります。

注意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。
温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。


12. ③ボルトを本締めする。

③ボルト
締め付けトルク
0.4 N・m

II. ルーフ スポイラーの取り付け

《注意》・ルーフ スポイラーおよび車体に傷を付けないように注意して作業を行うこと。

- ・作業は他の人に保持してもらいながら行うこと。
- ・作業は左右同様に行うこと。
- ・両面テープの接着不良を防ぐ為、取り付け後、最低24時間以上は水がかからないようにすること。

- ①ルーフ スポイラー裏側 (②別ピース貼り付け面) の下図  部に⑧PACプライマー K-500を塗布する。
 その際、塗装面にはみ出さない様に注意すること。
 また、PACプライマー K-500は、付属の説明書に従い扱うこと。

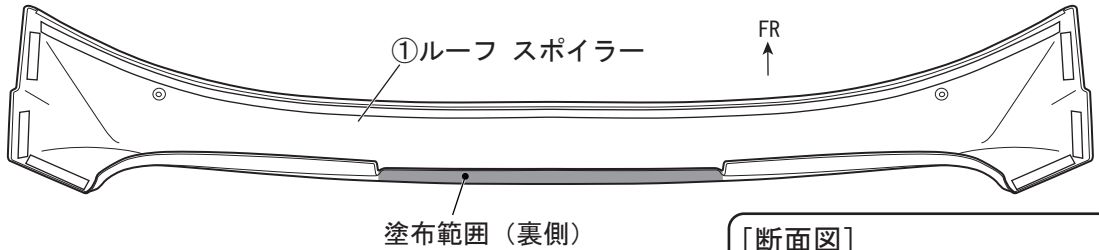
[使用部品]

⑧ (1)

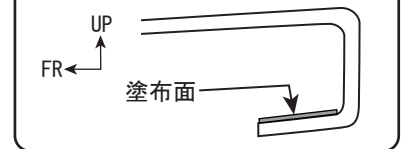


PAC
プライマー
K-500

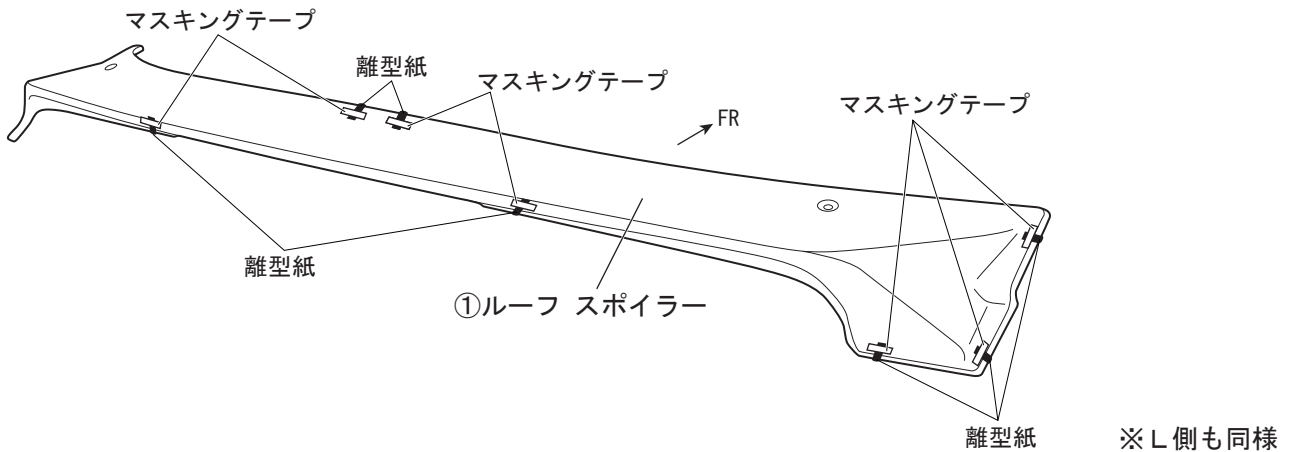
[下面視]



[断面図]

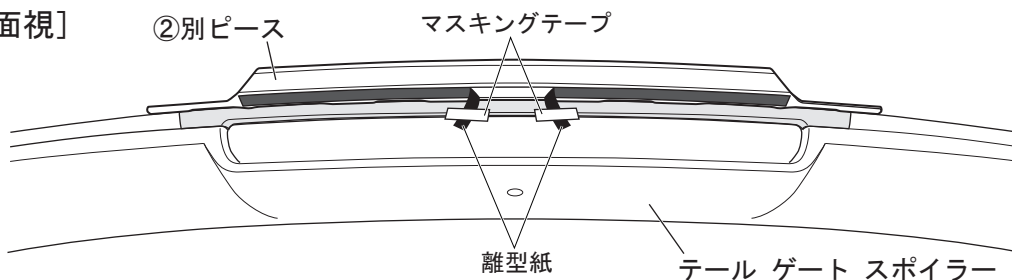


- ①ルーフ スポイラーの両面テープの離型紙を30mmほど剥がし、表側に折り返してマスキングテープで固定する。



- ②別ピースの両面テープの離型紙を30mmほど下方へ剥がし、マスキングテープで固定する。

[後面視]



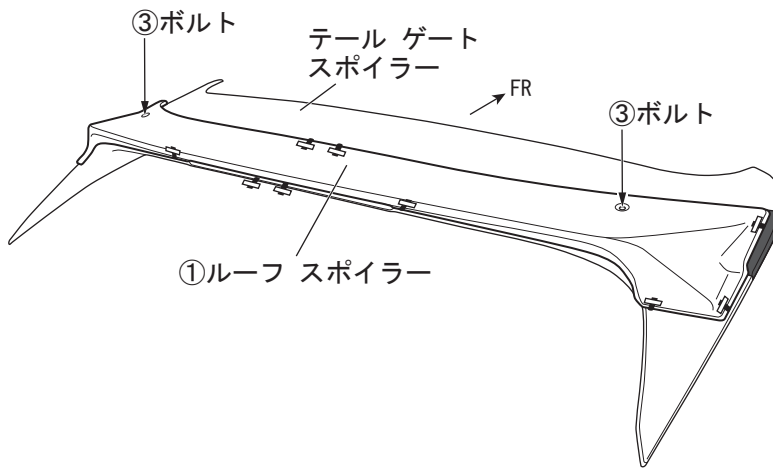
4. ①ルーフ スポイラーをテール ゲート スポイラーに仮当てし、③ボルトで片側1か所仮締めする。

[使用部品]

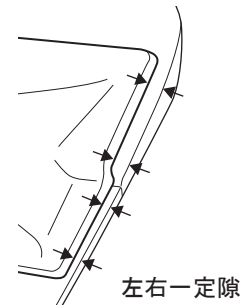
③(2)



ボルト



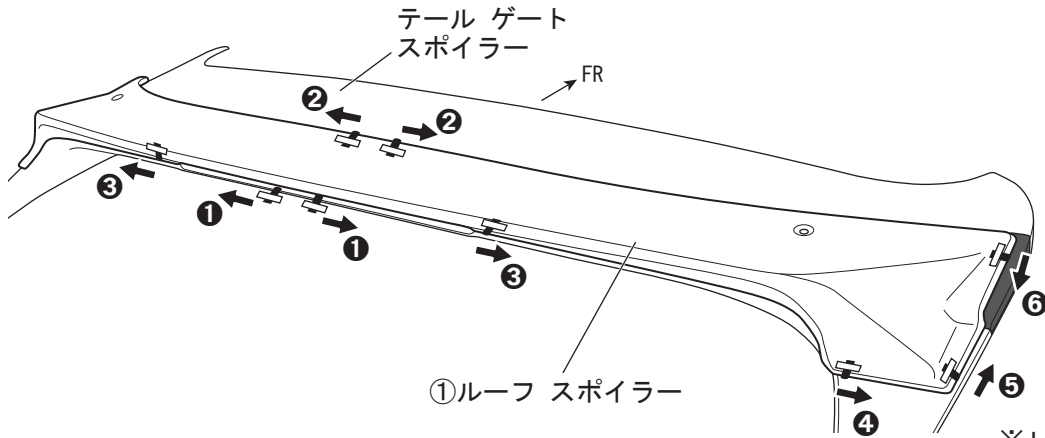
[取り付け位置基準]



左右一定隙

※L側も同様

5. 取り付け位置を確認し、両面テープの離型紙を矢印の方向に下記順番で引き抜く様に剥がし圧着する。



※L側も同様

圧着不足は、スポイラーの浮き剥がれの原因となります。

注意

接着力を向上させる為、両面テープ貼り付け時には、作業環境が20℃以上の状態で行うこと。温度が低いときには、両面テープをドライヤー等で温めてから作業を行うこと。

6. ③ボルトを本締めする。

③ボルト
締め付けトルク
0.4 N・m

7. 貼り付け面を脱脂し①ルーフ スポイラー後面に⑥ステッカーを貼り付ける。
貼り付け後保護フィルムを剥がすこと。

※圧着の際は、スキージ（へら）を使用し、気泡が入らないよう注意しながら圧着すること。

※スキージ（へら）で製品表面に傷を付けないよう注意して作業を行うこと。

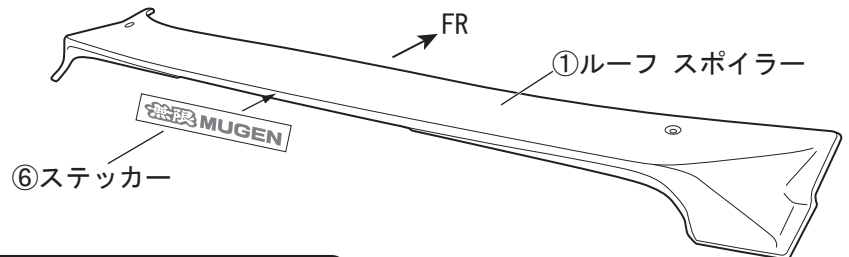
※高温（30℃以上）や高湿度の環境下で作業を行うとステッカーの接着不良の原因になりますのでご注意ください。

【使用部品】

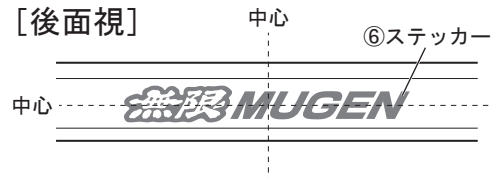
⑥（1）

無限 MUGEN

ステッカー



【後面視】



①ルーフ スポイラー後面中心に
合わせて貼り付ける。

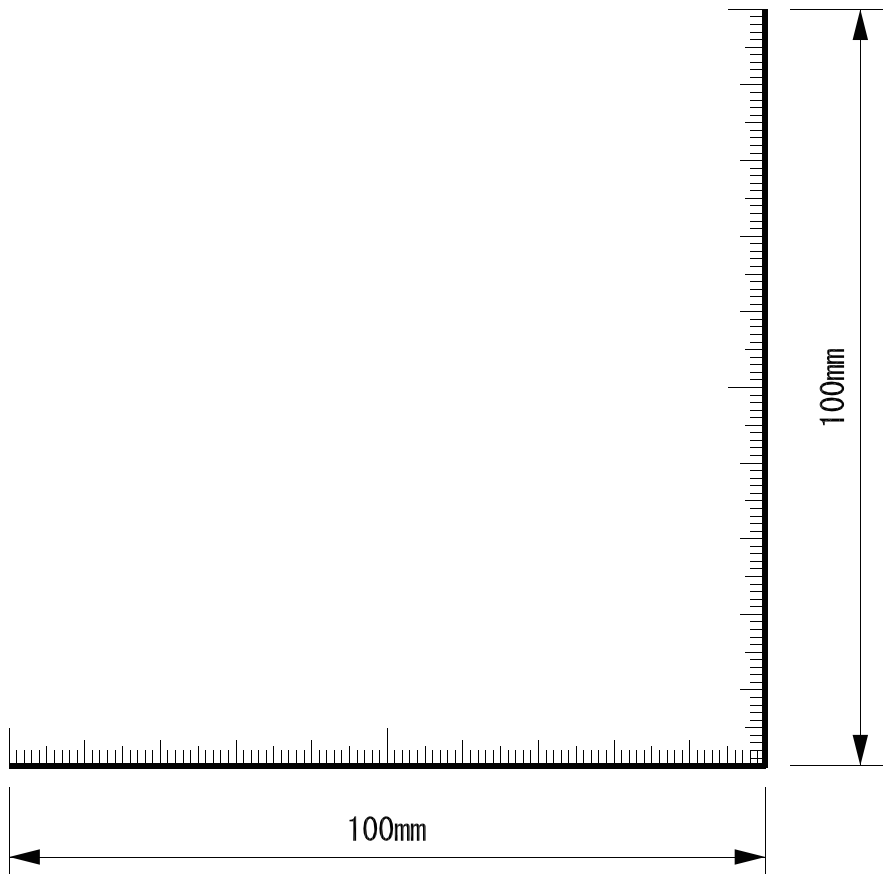
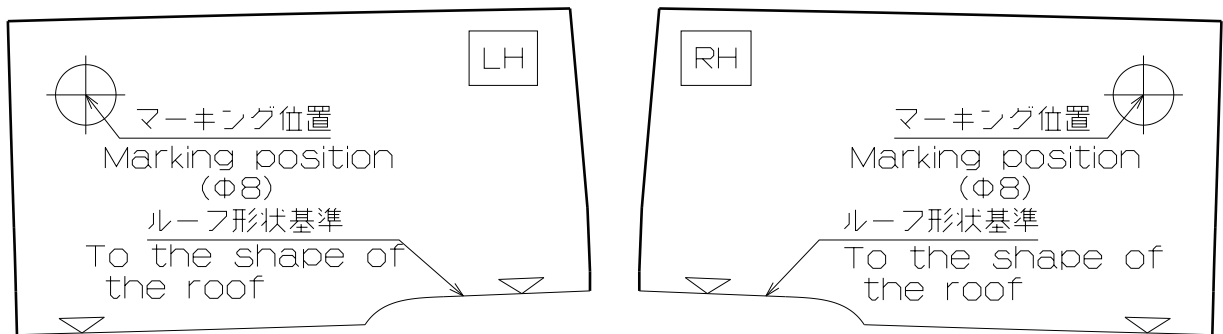
【無限ステッカー貼り付け位置参考例】

※ここで明記しているステッカーの貼り付け位置はあくまで一例です。
ご自由な位置にお貼りください。

8. 取り付け状態に不良がないか確認する。

ルーフスポイラー 穴あけ用型紙
Roof Spoiler template sheet
(84112-XNP-K050)

<注意> 型紙を切る際、刃物で怪我をしないように注意して作業を行うこと。
<NOTICE> Be careful not to cut by yourself when you cut out the template.



73-84-XNP-K050-A00
2021.04.23

SCALE 1/1